

はじめまして。キャンパスです

発達支援キャンパスは
小学校入学前の
発達障がいまたはその疑いのあるお子さまと
そのご家族をサポートする
児童発達支援事業所です。

ひとりひとりの得意なこと、苦手なことを
科学的根拠のある手法で早期に見極め
ひとりひとりの特性にあわせたオーダーメイドの療育を行い
未来の選択肢を広げる場所です。

お子様の良き理解者となることはもちろん
保護者の皆さまの不安やとまどいの理解者となり
みんなの「分からなさ」や「つらさ」をなくす方法を
一緒に探します。

保護者の皆様との協働を大切にし、
家庭や幼稚園・小学校など
外の世界との関係を支援することも目指します。

キャンパスに来ると楽しい
キャンパスに来ると安心する
そう思ってもらえる場所になれば嬉しいです。

不安なことがあったら
ご相談ください
例えば...

- ・落ち着きがない
- ・視線が合わない
- ・ことばが遅い
- ・友達と遊ばない
- ・歩き始めが遅い
- ・動きがぎこちない
- ・会話が噛み合わない
- ・かんしゃくを起こす
- ・こだわりが強い
- ・おもちゃでうまく遊べない

キャンパスのプログラム

マンツーマンの「個別療育」と、集団での活動や遊びなどを通じて学ぶ「グループ療育」で組み立てたプログラムです。認知、コミュニケーション、身辺自立などの基礎的なスキルの向上や、その自立性・自発性を高めるセッションに取り組みます。セッション終了時には、保護者の方と療育者で、行った療育やお子さまの発達や特性に関する気づきなどを共有する時間を持ちます。そして、保護者の皆さまとキャンパスで協働してお子さまへの理解を深め、安心感を持って子育てしていけるようサポートしていきます。

個別療育



「人に教えられたことをやってみたら、良いことがあった」という「学びの成功体験」からはじめます。ひとりひとりの特性や発達段階をアセスメントし、それぞれに合った環境設定や課題を提供します。そして、言葉や認知やコミュニケーションなど今後の学びの基礎となるスキルや習慣を身につけていきます。「無理に苦手を克服する」のではなく、「強みを活かすことで苦手を補う」支援です。

グループ療育



集団生活を送るためのルールを学び、社会で生きていきやすくする力を身につけます。集団生活のルールは目には見えないため、発達障がいのあるお子さまには分かりにくいものです。そのルールを可視化して「この集団の中で、この場面で、どうすることが求められるのか。どうしたらその行動が達成できるのか」を、具体的に楽しみながら学びます。

先生と勉強する

マンツーマンで学習し、「人から学ぶ成功体験」につなげます。ひとりひとりの興味関心のあるものを教材として、簡単な課題から始め、目標に合わせて様々な教材に取り組んでいます。

一人で勉強する

先生と学んだ課題に、場所を変えて一人で取り組みます。基礎スキルを伸ばし、自立心や自尊心を育てます。

おやつ

「何かが欲しい・何かをして欲しい」という「要求のコミュニケーション」は最初に育ちやすいので、お子さまが大好きなおやつ場面を活用して、「人に伝えると良いことが起きる(おやつが食べられる)」というコミュニケーションの成功体験を重ねます。

分かりやすいスケジュール

今日はどんな順序でどんな活動をするのか、本人のスキルや特性に適した分かりやすい伝え方をします。まず、安心して過ごせる環境を整え、移動や切り替えを自立して行うことを身につけます。予定通りに行動できるようになったら変更への対応力もつけていきます。

遊び

おもちゃを使って遊び方を学びながら、人とコミュニケーションする力を育てます。集団で遊ぶ場面では、友達との関わり方なども学びます。

例えば
こんな活動を
します

iPad や DVD

楽しみながら自立して遊ぶことを学びます。また、楽しいことを上手に終わらせる力も身につけます。

あつまり

集団の中で求められる行動、「指示を理解する」「注目する」「順番を守る」「待つ」ことなどを、楽しみながら学びます。

